

# 「アパレル製作技術 / 製品設計」

## 国内引用文献一覧

- 東海書房 「図説服装の移り変わり・西洋編」 中田満雄、長谷川路可共著
- マフー社 「きものとコート」 織田稔子著
- アパレル工業新聞社 「モデリストへのプロローグ」 芝山登光著
- 洋装社 「紳士服裁断縫製の要点」 貝島正高著
- 「礼服全書・製作技法から着装法まで」  
松田義明、松田法明、佐藤五郎、真鍋恵勇共著
- 「紳士服裁断の基本」 磯島定二著
- 「図解・背廣裁断裁縫の要点」 後藤祥夫著
- 「マニプレーションによる補正法」 津坂友二郎著
- 「Key to Technical Sewing Mens Jacket」 石川群一著
- 「ズボン教本」 日本メンズアパレルアカデミー編
- 文化出版局 「中国服の作り方全書」 揚成貴著
- 「服装造形論」 小池千恵著
- 「被服構成学・技術編」 文化女子大学被服構成学研究室編
- 「婦人既製服パターンの理論と操作」 小野喜代司著
- 「新・立体裁断」 小池千枝著
- 「グレの世界」
- アミコファッションズ 「パターンメイキングの原理」 大野順之助著
- 「ブラウスのパターンメイキング」 石黒明子著
- 「ジャケットのパターンメイキング」 小山千暁著
- 「アウトドア・ウェアのパターンメイキング」 野上均著
- 「スカートのパターンメイキング」 高橋祐子、山田文子共著
- 「パンツのパターンメイキング」 杉山俊彦著
- 「ドレスのパターンメイキング」 大野順之助著
- 「大野式メンズ立体裁断」 大野順之助著
- 繊維産業構造改善事業協会 「アパレル製作技術・工業用パターンチェック」  
人材育成専門委員会パターンメイキング部会編
- 「フラットパターンによるアパレルデザイン」 川又美智恵訳
- 「ベーシックパターンの製図法」 吉野信子、都筑和子共訳
- 「アパレル研究 15」

求 龍 堂

モード・エ・モード社

源 流 社

そ の 他

「アパレル研究 19」

「テキスタイルエレクトロニクス」

「ヴィオネ」 ベティー・カーク著 東海晴美編

「プロのためのカットシステム」 安東武男著

「近藤れん子の婦人服造形理論と Pattern 」 近藤れん子著

アミコファッションズ発行「アミコ・ニュース」

小林一光著「婦人服アパレル設計工学テーラードジャケットテキスト」

日本バイリーン編「エンジニアードアパレル実践講習会テキスト」

雑誌「ドレスメイキング」

# あ と が き

スケルトンの段階での話合いでは、まだ内容が良く把握できずにいましたが、いざスケルトンが完成し各パートや章毎の受け持ちを決めて担当してからが、正直言って四苦八苦の連続でした。私の担当は僅かではありましたが、日頃の仕事では突き詰めて考えてみたことが無かったので、その分社内の関連する所を聞き回ったりして、新たな発見もしたものです。慣れないワープロを前に、目は疲れ、肩がこり……。打ち終えた文章を一挙にプリントアウトした時は、爽快な気分で例えようもない喜びに一人酔いしれた次第です。今回このような機会を与えて頂いた、繊維産業構造改善事業協会さんに感謝いたします。ありがとうございました（三陽商会 坂巻健一）。

コンピューターの進歩には本当に驚かされます。ついこの間までは14ミップス 200メガが最新型と思っていたら、同じ価格で27ミップス 400メガが出てきました。この推移でいくと21世紀には我々が想像もしていないようなコンピューターが登場するかも知れません。その時のパターン技術がどうなっているかを想像すると興味が尽きません。しかし道具や技法がどんなに変わっても、服作りの考え方は常に原点を見つめていなければいけないということを、この本の製作に携わって痛切に感じています。（レナウン 菊地正哲）。

私は本書の編集の後期にわずかに同席させて頂いた程度で何のお役にも立っていないのですが、参加させて頂いたことをありがたく思っております。今まで様々に行われてきていたパターンメイキングの方法とか概念が、本書によって同一の認識で共通言語として会話ができるようになっていくことを願っております。委員の皆様大変ご苦労さまでした。（TNSインター 樋口吉徳）

例外の無いルールは無いと言うが、アパレルの製品設計過程における仕事ほど、ルール（基本）通りにいかない仕事も無いのではないかと思います。だからといってルールを軽視していい訳ではありません。例外が多いからこそ、見えにくいルールを見つけ、そのルールをしっかり押さえておくことが、仕事を適切に遂行するために重要です。この視点から本テキストを利用して頂けたら、と思っています。（アイン・プランニング 西川信夫）

これまで、パターンメーカー対象の本はパターン製作に重点が置かれたきらいがありましたが、本書はパターンメーカーの実像に迫り、その全仕事内容を浮き彫りにしています。サブタイトルが『製品設計』とあるように、パターン製作に関することから縫製工場とのコミュニケーションに至るまでの製品設計全般をカバーしています。今後はこの内容をテーマごとに拡充していく必要があると思われます。また、この職種が価値ある楽しい仕事として広く認められるには、標準的な技術とは何かを探り、後輩たちが目標とできる基準の確立などが上げられます。編集に携わって、故鯨岡阿美子氏（アミコ・ファッションズ創設者）が既製服設計者としてのパターンメーカー育成を目的に昭和四十年から立体裁断教育を開始して以来、達成しえなかったことが今日、繊維産業構造改善事業協会並びに内藤英雄氏によって機会を設けられ具体化されたことに心から感謝いたします。（ハトホル 岡本 顕）

# アパレル制作技術

製 品 設 計

頒布価格 6,000 円

( 本体 5,825 円 )

---

平成 6 年 1 月 第 1 刷発行

平成 6 年 5 月 第 2 刷発行

発行 繊維産業構造改善事業協会  
繊維ファッション情報センター  
〒105 東京都港区西新橋 1 - 6 - 21  
大和銀行虎ノ門ビル 6 F  
T E L 東京 ( 03 ) 3503-0931 ( 代表 )  
F A X ( 03 ) 3503-0993

---

禁無断転載 落丁本・乱丁本はお取替いたします。 印刷・製本 (株) 三 州 社